

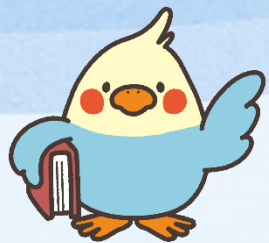
東京外国語大学の 留学制度について

From TUFS to the world ～世界に広がる学びの場～

2022年2月時点

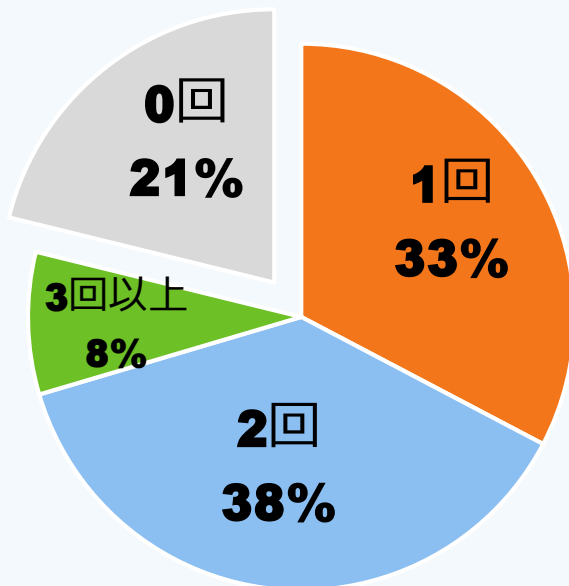
本学の公式キャラクター
トビタくん





外大生はどのくらい留学に行くの？

2020年度の学部卒業生（737名）の留学回数



全体の**78.8%**（581名）が在学中に留学を経験！

→ 2回以上の留学をしたのは**46.1%**

→ 留学経験者のうち、長期留学（1学期間以上）をしたのは**72.9%**（424名）

入学して初めての留学は、短期留学！

→2019年度の短期留学（ショートビジットプログラム）

参加者のうち、1年生が全体の**61%**（381名）

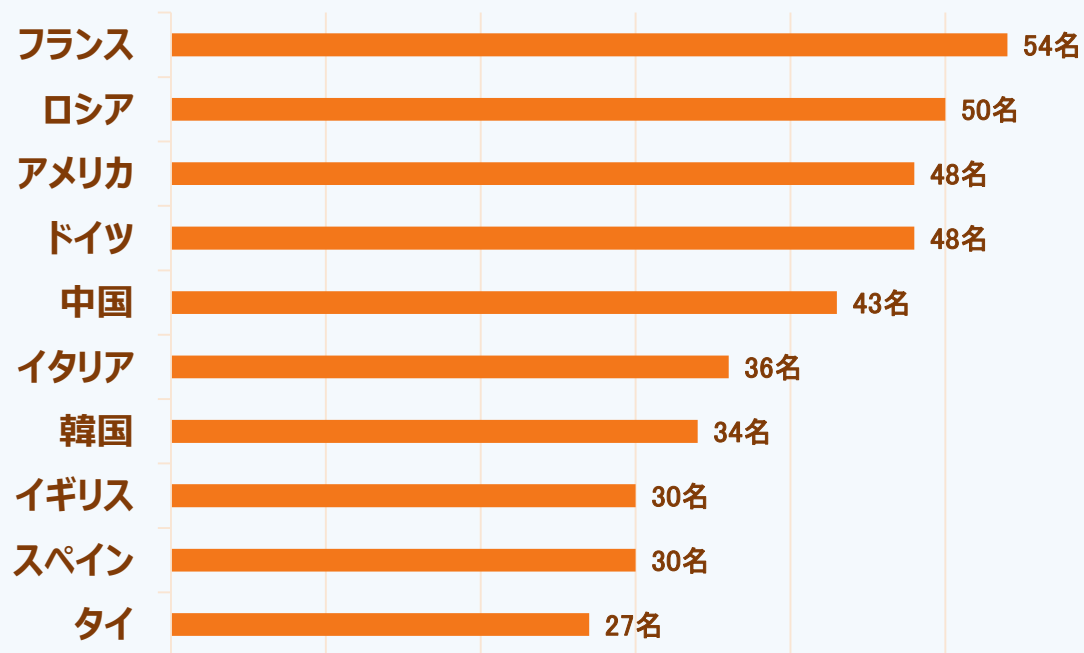
※2020年度および2021年度は、新型コロナウイルスの影響により現地渡航を伴う短期留学を中止しました。





どの国に留学しているの？

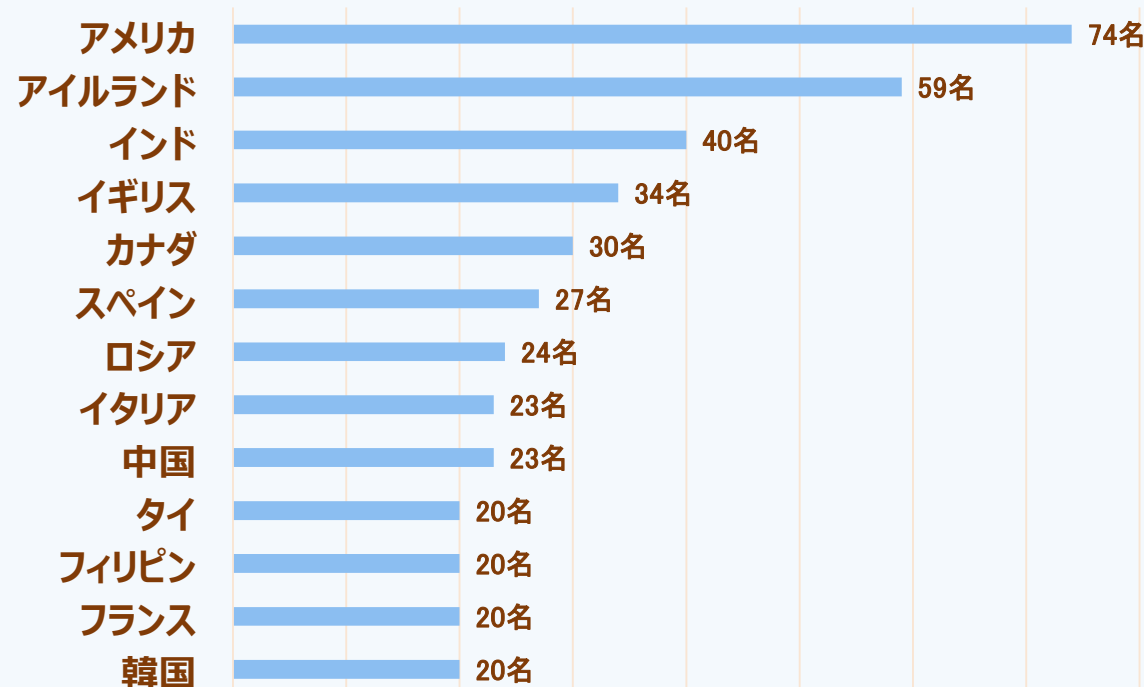
＜長期留学＞ 留学先 TOP10 (2019年度)



その他、中南米55名、中東31名、アフリカ38名など…

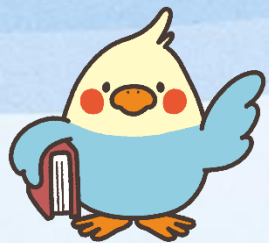
78カ国・地域へ留学

＜短期留学＞ 留学先 TOP10 (2019年度)



派遣（交換）留学の行き先は…
本学HP「在学生の方へ」→「留学案内」
→ 学生交流等協定校一覧 をチェック！





どんな留学形態があるの？

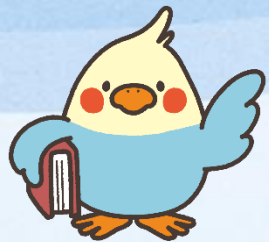
＜本学の制度＞

- ① 派遣（交換）留学
- ② 休学しての留学（休学留学・自由留学）
- ③ 短期留学（ショートビジットプログラム）
- ④ その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）

＜留学して何をするか＞

- ・ 学部で学ぶ（現地の授業を現地の言葉で学ぶ）
- ・ 語学を学ぶ
- ・ 就労経験（インターンシップ）、実地研修（スタディツアー）





どんな留学形態があるの？

＜本学の制度＞

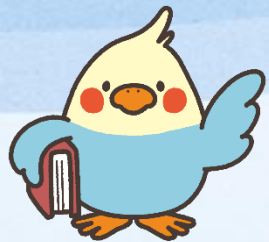
①派遣（交換）留学

②休学しての留学（休学留学・自由留学）

③短期留学（ショートビジットプログラム）

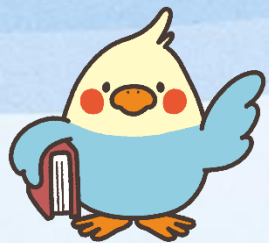
④その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）





① 派遣（交換）留学

- 本学の協定校へ、**学生交流協定**に基づいて留学するもの
（学生交流協定のある大学・機関の数：176 ※2021年5月1日時点）
- 期間は、**1学期間もしくは1年間（2学期間）**（4か月～10か月程度）
- 現地学生とともに現地の言葉で**専門的な内容を学ぶ**（学部留学）
（留学先大学によっては、留学生向けの語学コースを中心に学ぶこともある）
- 留学先で取得した単位は本学の卒業単位として認められるため、**4年で卒業することも可能**
- **本学の授業料を納入し**、留学先の授業料は免除される
- 毎年10月に学内での募集、**人数枠に限りがあるため、選考あり**
（語学力、大学での成績（GPA）、書類・面接等による評価）
- 自分の専攻言語と異なる地域への留学も可能

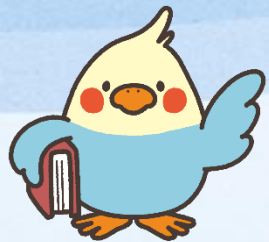


どんな留学形態があるの？

＜本学の制度＞

- ①派遣（交換）留学
- ②休学しての留学（休学留学・自由留学）
- ③短期留学（ショートビジットプログラム）
- ④その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）





② 休学をしての留学（休学留学、自由留学）

- 本学を休学して留学するもの
- 事前に申請すれば単位認定可能、ただし審査あり
- 単位認定あり：「休学留学」（3年次以降）、単位認定なし：「自由留学」
- 自分で探してきた海外の大学・教育機関に留学する（協定校でなくても可）
- 学部留学、語学留学、いずれも可
- 期間は、3か月以上、3年以内（1回の休学申請は、1年まで）
- 本学の授業料は免除（在籍料等は必要なし）、留学先の授業料を支払う
- 休学をするため、4年間での卒業は不可。多くの場合、5年卒業。



派遣（交換）留学／休学しての留学 の比較（まとめ）

	派遣（交換）留学	休学しての留学	
		休学留学	自由留学
内容	大学間交流協定に基づく協定校への留学	①協定校に大学を通さずに 個人的に留学 ②協定校以外への留学	休学留学と同じ、 もしくは語学学校等への留学
学年	第2学年春学期試験終了後	第3年次以上	全学年
期間	3カ月以上1年以内 (1学期間or2学期間)	原則として6カ月以上1年以内 (1学期間も可)	最長3年まで (休学申請は1年ごと)
授業料	本学へ納入（本学の学費） 留学先は免除	本学は免除 留学先へ納入	本学は免除 留学先へ納入
学年進行	あり (修学年限・在学年限に通算する)	なし（留年）	なし（留年）
単位認定	あり	あり (留学前に教務課に申請)	なし
その他	学内選考あり (毎年10月末に応募)	留学先に直接申請	留学先に直接申請
保険	学研災付帯海外留学保険	学研災付帯海外留学保険	民間保険



派遣（交換）留学／休学しての留学のメリット、デメリット

	派遣（交換）留学	休学しての留学
メリット	- 留学先の授業料免除（本学の学費を納める） 欧米の大学の場合、年間の授業料が250万ほどになることも… - 身分がしっかりしている 手続き、寮の申込み、現地のサポート、履修登録… - 制度上は4年間で卒業が可能 ただし、就職活動や卒業論文との兼ね合いにより5年卒業になる場合も多い… - 奨学金のチャンスが多い JASSOの海外留学支援制度、交換留学を前提とした民間の奨学金など	- 留学先を自由に選べる 但し、私費留学生の受入れのある大学のみ - 自分の行きたいタイミングで留学できる もちろん、留学先の学事日程は考慮する必要あり - 語学留学であればかなり柔軟に留学計画を立てられる 2か国、3か国に行くことも可能
デメリット	- 留学先は協定校のみ（派遣人数に制限あり） - 留学のタイミングは、留学先の学事日程に合わせる必要がある	- 留学先の学費が高額となる - 交換留学生ならば受けられるサービスが受けられない可能性がある - 手続きはすべて自分で！ → それも勉強のうちと思えばメリットに？

英語圏への留学の場合…

授業料の差が大きいいため、派遣留学先が求める英語力（TOEFL、IELTS）を満たしていて、学内の成績もある程度良ければ、まずは派遣留学を検討するとよい。

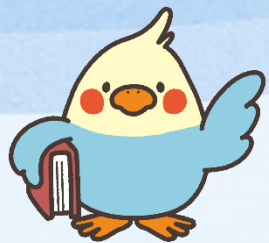


どんな留学形態があるの？

＜本学の制度＞

- ①派遣（交換）留学
- ②休学しての留学（休学留学・自由留学）
- ③**短期留学（ショートビジットプログラム）**
- ④その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）

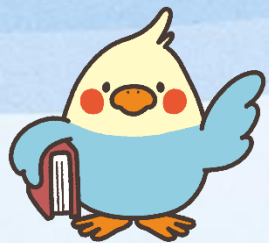




③短期留学（ショートビジットプログラム）

- ・ 時期：夏学期もしくは冬学期
- ・ 期間：3週間～6週間程度（留学先による）
- ・ 留学先：本学の協定校
- ・ 内容：言語を学ぶもの、専門分野を学ぶもの（英語にて）
- ・ プログラム数：夏学期：148、冬学期：61（2019年度実績）
- ・ 学べる言語の数：30言語（2019年度実績）
- ・ 単位認定あり：2単位
- ・ 全員参加型のプログラム（ベトナム語、ビルマ語、トルコ語、アラビア語、ラオス語、タイ語、ベンガル語、カンボジア語）
- ・ 参加費用（授業料、渡航費、滞在費など）：すべて自己負担





ショートビジットのプログラム内容

各国言語
コース

英語コース

英語で学ぶ
総合型コース

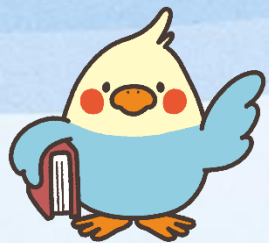
※ほとんどのプログラムが参加要件（TOEFL、IELTSなど）の設定は無し。

※総合型コースでは、英語力の要件あり。（設定がない場合もある）

プログラムリスト：

大学HP「在学生の方へ」→「留学案内」→「ショートビジット」のページ

<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>

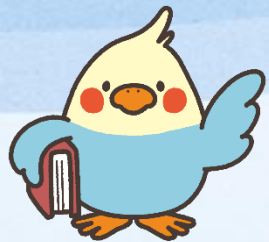


どんな留学形態があるの？

＜本学の制度＞

- ①派遣（交換）留学
- ②休学しての留学（休学留学・自由留学）
- ③短期留学（ショートビジットプログラム）
- ④**その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）**





④その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）

- スタディツアー
 - ニューヨーク国連スタディツアー
 - ウズベキスタン スタディツアー
- インターンシップ
 - TOYOTA（インドネシア、マレーシア、フィリピンなど）
 - 矢崎総業（中国）
 - 国際開発救援財団FIDR（カンボジア）
 - AYANA RESORT & SPA（インドネシア・バリ）
 - 経済協力開発機構（OECD）
 - 国際移住機関（IOM）





留学するにはお金がどのくらい必要なの？

留学先の授業料や滞在費によりますが、目安として…

- 短期留学（3～6週間）の場合（総額）

英語圏：約50～100万円、アジア：約20～40万円、ヨーロッパ：約30～50万円

- 長期留学（10か月程度）の場合

	英語圏	アジア	ヨーロッパ
交換留学	約220～260万円	約100～200万円	約150～250万円
休学留学	約400～450万円	約150～250万円	約200～350万円

費用項目：ビザ、渡航費、住居費、生活費（食事、日用品、衣類、通信等）、学費、保険、その他（レジャー等）

※交換（派遣）留学：授業料は本学に払う ⇔ 休学留学：授業料は留学先大学に払う

※ヨーロッパの大学では学費が無料の場合もある



留学のための奨学金はありますか？（給付型）

- 日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度
（渡航先により、月額6～10万円を支給。）
- 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～
- 民間財団、地方自治体、各国政府による奨学金など多数
- 奨学金に関する情報（本学ウェブサイト）
http://www.tufs.ac.jp/student/tuition_scholarship/scholarship/nihon_gakusei.html
- JASSOの『海外留学支援サイト』
<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>
- 交換留学の場合、約8割の学生が何らかの奨学金を受給。（2019年度）
（休学しての留学の場合は、奨学金受給率は、2割弱）



留学体験報告も要チェック！

- 留学体験報告書
（派遣留学） <http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/haken/report.html>
http://tobita.tufs.ac.jp/study_abroad_report.aspx
（ショートビジット） http://tobita.tufs.ac.jp/study_abroad_report_sv.aspx
- トビタくん留学日記
<http://www.tufs.ac.jp/studyabroad/tobita/>
- 受験生ナビ（留学体験記）
<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/studyabroad/experience/>
- 東京外国語大学国際社会学部アフリカ地域専攻のサイト
<https://sites.google.com/view/tufsafrica/留学体験記>



留学の相談はできますか？

- 留学支援共同利用センターでの留学相談（予約制）
 - 留学支援相談員が親身になって、丁寧に対応します！
 - 初歩的な質問から、応募申請に関することまで幅広く対応します！
 - ただし、留学エージェントではないので、情報を調べたり、申請作業などは学生自身で！
 - 「留学相談申込書」「留学相談FAQ」：
<http://www.tufs.ac.jp/institutions/facility/ryugakushien.html>

